

科目名	成人看護援助論 I		時期		時間	単位
担当教員	非常勤講師 看護師として5年以上の実務経験を有する 専任教員		2年次	前期	30時間	1単位
科目設定理由	近年成人期にある対象の健康問題は複雑化・多様化し、突然の事故や発病、持病の急激な悪化、手術などにより激的な症状や激しい苦痛・不安を呈し、生命の危険を伴うことも多い。そこで専門基礎分野で学んだ知識と関連させながら、急性期や周術期にある対象の特徴や消化・吸収・循環機能に障害のある対象の特徴について、講義・演習を通して理解することにより、それぞれに応じた看護実践力を養うため当該科目を設定した。					
学習目標	1 急性期にある対象と、その家族の特徴および看護を理解する 2 周手術期にある対象の特徴と周手術期看護の援助方法を理解する 3 消化・吸収機能障害のある患者の看護を理解する 4 循環機能障害のある患者の看護を理解する					
修得する看護技術項目	No. 12 ストーマ管理 No. 33 気管内吸引		No. 37 ドレーン挿入部の処置 No. 36 創傷処置（創洗浄、創保護、包帯法）			
授 業 計 画						
回数	項目	内 容				備 考
1~4	急性期にある対象と家族の看護	1 クリティカルケア看護 (1) クリティカルケア看護における臨床判断 (2) 倫理的課題 (3) 人工呼吸器装着中の看護 2 急性期にある対象と家族の看護 3 急性期の看護技術 (1)創傷管理 (2)ドレーン管理 (3)気管内吸引				講義・演習 No. 33 No. 36 No. 37
5~6	周手術期にある対象の特徴と看護	1 周手術期看護の概論 (1)手術を受ける患者とその家族の心理 (2)チーム医療と看護師の役割 (3)インフォームドコンセント 2 手術前患者の看護 (1)術後回復に向けた主体的参画への支援 (2)術後合併症のリスクと予防 3 手術中患者の看護 (1)麻酔による影響と援助 (2)手術体位による影響と援助 (3)安全管理 4 手術後患者の看護 (1)手術侵襲と生体反応 (2)術後の疼痛管理 (3)術後合併症と予防自己管理に向けた援助				講義
7~9	消化・吸収機能障害のある患者の看護①	1 上部消化管腫瘍（食道がん・胃がん） 2 下部消化管腫瘍（直腸がん） 3 炎症性疾患（大腸炎・クローン病） 4 手術療法をうける患者の看護 (1)腹腔鏡手術を受ける患者の看護 (2)胃の手術を受ける患者の看護 (3)腸の手術を受ける患者の看護				講義
10	消化・吸収機能障害のある患者の看護②	1 ストーマケア				講義・演習 No. 12
11~14	循環機能障害のある患者の看護	1 虚血性心疾患患者の看護、 冠状動脈インターベンションを受ける患者の看護 2 心不全患者の看護 3 心臓リハビリテーションと看護 4 不整脈患者の看護、 ペースメーカー治療を受ける患者の看護 5 弁膜症患者の看護 6 閉塞性動脈硬化症患者の看護				講義
15	試験	まとめ				
使用テキスト	系統看護学講座 専門分野 成人看護学[3]循環器		吉田 俊子 他		医学書院	
	系統看護学講座 専門分野 成人看護学[5]消化器		南川 雅子 他		医学書院	
	系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論		池上 徹 他		医学書院	
	系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論		北川 雄光 他		医学書院	
	根拠と事故防止からみた 基礎・臨床看護技術		任 和子 他		医学書院	
	急性期看護:クリティカルケア		益田 美津美 他		メヂカルフレンド社	
参考図書・資料等	高齢者と成人の周手術期看護 1、2、3		竹内 登美子		医歯薬出版	
評価方法	筆記試験・グループワーク・レポート・出席状況などを総合的に評価する					